

【ACKグループ3ヵ年事業戦略 売上高420億円目指す 2000人体制確立へ270人増員】

ACKグループ
3ヵ年事業戦略

売上高420億円目指す

2000人体制確立へ270人増員

ACKグループの野崎秀則社長は9月30日、東京都内で記者会見し、15年9月期から3ヵ年の事業戦略などを明らかにした。インフラ保全・運営

管理や防災、事業経営など8項目の重点化プロジェクトに3年間で15億円以上を投資。中期経営計画で設定した業績目標と

して、17年9月期に連結売上高420億円を目指す。人材確保にも注力し、今後3年間で社員を2700人増員。2000人体制を確立する。

野崎社長は「政府が進める地方創生や国土強靱(きょうじん)化などを追い風に、国内では中期的に一定の事業量が確保できる」と指摘。「2020年に向けた長期経営ビジョンで掲げた連結売上高500億円以上、営業利益率4%以上といった目標を達成する上で、今後3年間は重要な時期になる」との見方を示した。

中期計画の初年度となる15年9月期の連結業績目標は売上高370億円、営業利益8.6億円と設定。17年9月期まで

に売上高を420億円、営業利益を13億円まで引き上げる。420億円の内訳は国内公共4割弱、国内民間3割弱、海外3割強を目標とする。

17年9月期の連結受注高は470億円程度(14年9月期は約420億円)と設定。重点化プロジェクト

の組織整備に10億円を投入する。今後、需要拡大を見込んでいる公共施設の包括保全管理分野では、地域コンサルとの連携も視野に入れる。



会見する野崎社長

プロジェクトの割合は受注全体の5割(現在4割)を目指す。20年には受注全体の6割まで引き上げる考えだ。

目標達成に向け、野崎社長は体制整備と人材確保の重要性を強調。「新卒採用を中心に中途採用やM&A(企業統合・買収)などを視野に入れている」と述べた。グループ内外の連携も強化し、今後3年間で資格取得、マネジメント研修などの人材育成に5億円、海外現地法人設立や大学、異業種企業との連携強化などの組織整備に10億円を投入する。